

# 『酒田港港湾機能継続計画』を策定！

## — 第3回 酒田港港湾機能継続協議会 —

3月17日（火）、酒田市中央公民館において「第3回 酒田港港湾機能継続協議会」が開催されました。酒田港港湾機能継続協議会は、未曾有の被害を受けた東日本大震災を教訓とし、①「大規模災害時にも一定の港湾機能を継続させ、早期の港湾機能復旧に向けた行動計画を関係者間合意のもとに策定すること」、②「関係者間の連携を強化すること」を目的として、平成25年5月に設立されたものです。

今回で3回目となる本協議会では、港湾に関係する団体・企業や関係行政機関から22名の会員が集まり、これまでの意見や関連計画との整合性を反映した『酒田港港湾機能継続計画（案）』について意見交換が行われました。席上、「主目的が港湾機能継続であることの確認」や「要点を絞ったシンプルな計画が望ましい」等の様々な意見が出された後、議論されたことを基に内容を精査することで、計画は了承されました。

今後は、本計画に沿って情報伝達訓練や各団体が構成員の意識付け、減災に向けた取組みを行い、内容の見直しを図りながら万が一の災害に備えることとなります。いざという時に各団体・企業や行政機関が自主的に行動し、相互協力することが施設の早期復旧にもつながるため、効果が最大限に発現されるように本計画を広く周知することも重要であり、当事務所も含め、今後の各会員の行動が注目されるところです。



清水所長が座長となり、協議会を進行（事務局：当事務所）



会員の皆様から様々な意見が出されました

### ◇◇◇ 災害が起こってしまった際の心得 ◇◇◇

- ・ **まずは身の安全確保を最優先**とし、**各人が避難等の必要な対応**をしてください。
- ・ 慌てず冷静に行動してください。
- ・ 地震発生時、津波等による浸水の恐れがある沿岸部には、決して近付かないでください。

日頃から、災害が起こってしまった場合の行動などについて、家庭や職場で話し合ってみてください。

